

令和2年(2020)6月、福井県敦賀市、南越前町、滋賀県長浜市に残る明治時代を中心とする鉄道遺産群が、「海を越えた鉄道」世界へつながる「鉄道のキセキ」として日本遺産に認定されました。

明治17年(1884)に開通し、当時日本最長であった柳ヶ瀬トンネルを擁する敦賀・長浜間、明治29年(1896)に開通し、大規模輸送の峠越えを実現するためにスイッチバックで運行し、日本海の絶景を望む敦賀・今庄間の路線は、戦後に至るまで長く旅客・貨物の輸送に活躍しました。

この写真展では、敦賀・今庄間を中心に、運行当時のようすを写真で紹介し、現在の光景や見どころについても併せて展示します。

旧北陸線の「むかし」をふり返り「いま」を知ること、現地へ足を運んでいただくきっかけになれば幸いです。

日本遺産認定記念写真展



旧北陸線

しまむかし

～鉄道遺産をたずねて～

福井会場

福井県立歴史博物館

1階 エントランスロビー

開館時間:9時から17時まで(入館は16時30分まで)

令和2年10月24日(土)～12月27日(日)

休館日:11/11(水)・11/30(月)～12/2(水)・12/9(水)・23(水)

観覧料:一般100円、70歳以上・高校生以下の方無料(通常の入館料)

敦賀会場

きらめきみなと館ロビー

令和2年10月30日(金)～11月16日(月)

開館時間:9時から17時まで※会期中無休、入場無料

今庄会場

昭和会館 3階大ホール

令和2年11月18日(水)～12月6日(日)

開館時間:10時から16時まで※会期中無休、入場無料

鉄道写真家 南正時作品展

同時開催



撮影:南正時

福井県越前市出身の紀行写真家。1964年に東海道新幹線試運転電車を初撮影して以来、50年以上の経歴を持つ。世界の鉄道も積極的に取材を続け、著作、テレビなど幅広く活躍。



写真家 南正時

敦賀駅交流施設オルパーク

令和2年10月30日(金)～11月16日(月)

開館時間:4時30分から23時30分まで/無休・入場無料

昭和会館・今庄まちなみ情報館

令和2年11月18日(水)～12月6日(日)

開館時間[昭和会館]:10時から16時まで/会期中無休・入場無料

[まちなみ情報館]:9時から16時まで/無休・入場無料

日本遺産の 主な構成文化財 マップ

日本遺産を巡る旅はいかがですか？
今庄から敦賀、そして長浜まではひとつの道で繋がっています。歴史に想いを馳せながら、実際に訪れることで感じる風情を是非楽しんでください。



★日本遺産認定記念写真展会場
★鉄道写真家・南正時作品展



1 湯尾トンネル

旧北陸線トンネル群の最北に位置するトンネルで、現在は町道として地元住民等によく利用される。



2 今庄宿

江戸時代に栄えた北国街道の宿場町であり現在も当時の思わせるまちなみや史跡が数多く残る。



3 大桐駅跡

プラットフォーム跡が残る駅跡で、現在はD51形の動輪が展示されている。



4 山中トンネル

長さ1,170mの長くて真っ直ぐなトンネルで入口から出口までを見通すことができる。



5 伊良谷トンネル

両口から望める、声谷・曲谷トンネルと連続する珍しい「三連トンネル」は必見。



6 杉津の景観

大正天皇が見物れて列車を停めさせた「北陸線屈指の車窓風景」と言われる絶景。



7 檜曲トンネル

内壁、ポータルがすべてレンガ積みという特別な意匠が施されている。



8 旧敦賀港駅ランプ小屋

列車の灯火に使用するカンテラの燃料を保管した油庫。現存する最古の鉄道建築の一つ。



9 小刀根トンネル

現存する日本最古の鉄道トンネル。D51形蒸気機関車のサイズの元になったと言われる。



10 柳ヶ瀬トンネル

明治17年に開通し長浜市と敦賀市を鉄道で結んだ。開通当時は日本最長であった。



11 木之本宿

地藏院の門前町で北国街道と北国脇道が交わる宿場。商家の家並みが今も残る。



12 旧長浜駅舎

明治15年建築の現存する日本最古の駅舎。現在は、北陸線の歴史を伝える資料館。

福井県立
歴史博物館
交通案内

- 北陸自動車道 福井北インターより 西へ約15分
- JR 福井駅より タクシー約10分
- 京福バス西口広場バスターミナルから【大和田大学病院線】「県立歴史博物館前下車」コミュニティバス「すまいる」【田原・文京方面】「宮前町」下車 えちぜん鉄道【三国芦原線】「西別院」駅下車 徒歩約10分
- 福井鉄道「田原町」駅下車 徒歩約15分



旧長浜駅舎 12